

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和3年10月～12月)

**海外の需要回復と物流問題によりモノ不足と資材高騰が深刻化している。
緊急事態宣言の終息に伴い飲食業・サービス業は回復傾向が続く。**

ポイント

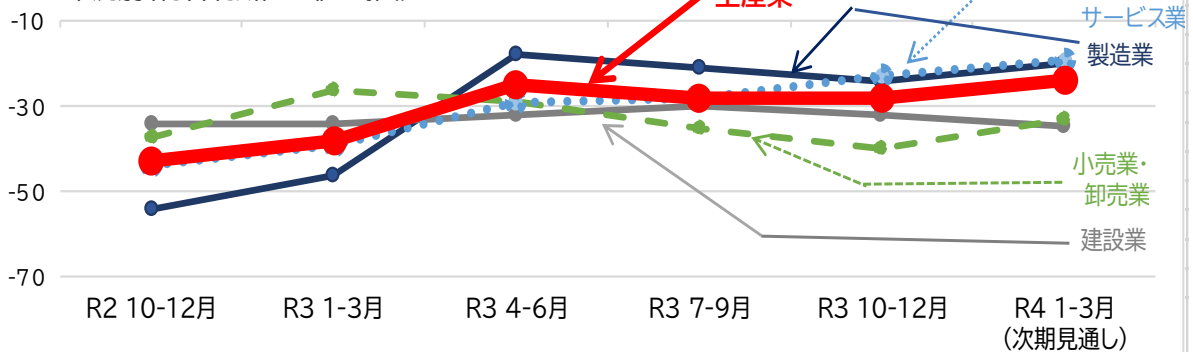
- ▶ 令和3年10月～12月期の総合業況DIは▲28と、前期▲28と変わらず。飲食業・サービス業(前期▲28・今期▲23)は、ゆるやかに改善しつつある。建設業(前期▲30・今期▲32)と製造業(前期▲21・今期▲24)は小幅の悪化、小売業・卸売業(前期▲35・今期▲40)は、前々期・前期に引き続き、悪化が続く。
- ▶ コメントによると、製造業・建設業を中心に、世界的な需要回復と物流の停滞によるモノ不足と資材高騰が深刻化している。半導体・木材だけでなく、食品、ガソリンなどにまで影響が広がっている。飲食業・サービス業は改善傾向が続く、小売業は景況の回復が遅れている。コロナ禍の長期化により変化した、顧客の消費行動が固定化しつつあることに危機感を感じているようである。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲24と、今期▲28から4ポイント改善の見込み。悪化が続いている小売業・卸売業(今期▲40・次期▲33)は改善に向かう見込み。飲食業・サービス業(今期▲23・次期▲19)と、製造業(今期▲24・次期▲20)は小幅の改善の予想である。建設業(今期▲32・次期▲35)は若干の悪化が見込まれる。(次期見通しについては、12月時点での見通しとなります。)

※1月の商工会議所LOBO調査(日商早期景気観測調査)は、「業況DIは、オミクロン株の感染拡大により悪化。先行きは、感染急拡大への警戒感から厳しい見通し」(詳細は <https://cci-lobo.jcci.or.jp/>)

各業界から寄せられたコメント

- ・【ジャズポップコーン、ポップコーン原料豆】主原料のコーンがアメリカ産の為、コンテナ不足で入荷が遅れている。
- ・【内装業】未だかつてない材料の値上がり。
- ・【化粧品、服装雑貨】SNSの普及やポイント還元による消費者の離店傾向を強く感じます。
- ・【接骨院】緊急事態宣言解除後から人の流れが一気に変わり売上が好転しています。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前年同期概況 (R2.10-12)	前々期概況 (R3.4-6)	前期概況 (R3.7-9)	今期概況 (R3.10-12)	次期見通し (R4.1-3)
製 造 業	▲ 54 ☂	▲ 18 ☁	▲ 21 ☁	▲ 24 ☁	▲ 20 ☁
建 設 業	▲ 34 ☂	▲ 32 ☂	▲ 30 ☂	▲ 32 ☂	▲ 35 ☂
小 売 業 卸 売 業	▲ 37 ☂	▲ 29 ☁	▲ 35 ☂	▲ 40 ☂	▲ 33 ☂
飲 食 業 サ ー ビ ス 業	▲ 44 ☂	▲ 25 ☁	▲ 28 ☁	▲ 23 ☁	▲ 19 ☁
全 業 種 (総 合)	▲ 43 ☂	▲ 25 ☁	▲ 28 ☁	▲ 28 ☁	▲ 24 ☁

業況天気図凡例

快晴 CI値 31以上 	晴れ CI値 30~31 	薄曇り CI値 10~30 	小雨 CI値 11~30 	雨 CI値 31以下
--------------------	---------------------	----------------------	---------------------	-------------------

調査期間：令和3年10月1日～12月31日
 回答率：25.9% 回答者数：962件
 調査対象：当所会員事業所3,711事業所

＜＜景気観測調査＞＞

前年度同時期のと景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。